

俳句

1年目ステップ2



おんせい
音声はこちら

ゆくはるとりなうおめなみだ
行く春や鳥啼き魚の目は泪



まつおばしよう
松尾芭蕉

うまほおおつすみれぐさ
馬の頬押しのけ摘むやすみれ草



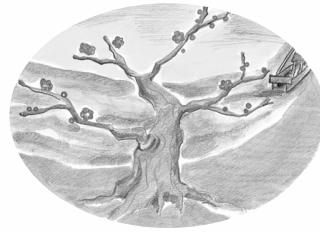
すぎやまさんぶう
杉山杉風

はるうみひねもすのたりのたりかな
春の海ひねもすのたりのたりかな



よさぶそん
与謝蕪村

あれうめとままこぶねかな
あれ梅という間に曲がる小舟かな



こばやしいっさ
小林一茶



おんせい
音声はこちら

慣用句

1年目 ステップ2

は
歯がたたない

あいてつよ
相手が強すぎてまったくかなわない。



かた も
肩を持つ

ひいきしたり味方したりすること。



こし お
腰を折る

とちゅう ひと はなし さえぎ
途中で人の話などを遮ってじやまをする。



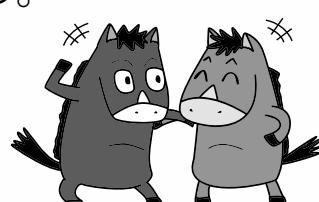
いた
板につく

しょくぎょう
職業などがその人にぴったり合った感じになる。



うま あ
馬が合う

あいてき
相手と気が合ってうまくやっていける。



うた

1年目ステップ2



おんせい
音声はこちら

《言葉の単位》

言葉の単位を 知ってるかい
言葉として これ以上小さくならない
もっとも小さな単位 それは 単語
単語 文節 文 段落 文章

文の小さな 一区切り 文節
句点までの言葉は 文という
文が集まり 段落に そして そして
考えや気持ちを表す文章と なっていく

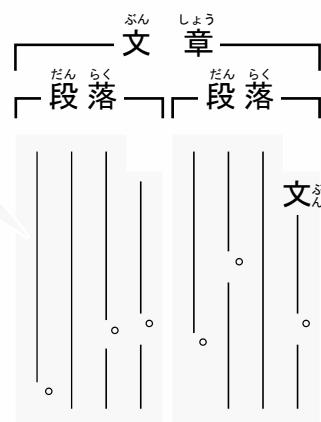
これより小さくわけることはできません

单語にわけると
ぼくはサッカーが得意です。

文節にわけると
ぼくはサッカーが得意です。

ぼくはサッカーが得意です。

文





おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ2

立つ鳥跡を濁さず

立ち去る時は不名誉や汚点を残さず、残る人に迷惑をかけないようにすべきだ。



石橋をたたいて渡る

用心して十分に確かめてから慎重に行うことのたとえ。



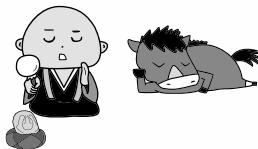
灯台下暗し

身近なことはかえってわかりにくいものである。



馬の耳に念佛

いくら意見しても聞き入れず無駄であること。



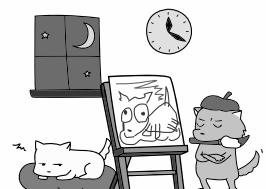
油断大敵

油断は相手以上に怖い大敵であるから大いに慎まなければならない。



下手の考え方休むに似たり

良い知恵がなければ、いくら考えても時間がばかり経つて何の効果もない。



百人一首

1年目 ステップ2



おんせい
音声はこちら

田た
子ご
の
うち
富ふ出い浦うら
士じでに
のて
高たか見み
嶺ねれ
にば

雪ゆき白しろ
は妙たえ
降ふの
りつ
つ

(山やま
部べの
赤あか
人ひと)

あ
山やま
鳥どり
長ながのき
々なが尾おの
し夜よ
をしだ
ひとり
ひだり尾お
かも寝ね
む
(柿かきのもとのひと
本人まほ
麻呂ろ)

